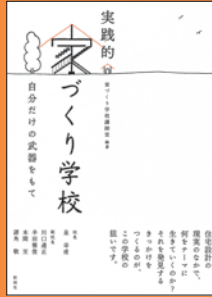


自分だけの武器をもて

# 家づくり学校

家づくり学校のために  
実践的家づくり学校—  
自分だけの武器をもて  
(彰国社)を出版し、  
1年生コースの教科書  
としています。



## 第14期 受講生募集のご案内

### 1年生【座学】

年8+1回

住宅設計で活躍している複数の建築家から講義を受け、彼等が迫及する多様な設計テーマを知ることで、現代の住宅における課題を学びます。

受講料:70,000円

(各学年とも)

構造ゼミのみの受講料:100,000円

1年生+構造ゼミの受講料:120,000円

住宅の設計は楽しいものです。しかし勉強しなければいけないことがたくさんあり、実際の仕事では苦勞もあります。大学で教わる内容も大切ですが、実際に住宅の設計をするとすると、今の時代に即した現実的で新しい知識も必要になります。

また建築主や施工者とその付き合い方も簡単ではありません。現実の仕事はどのように進めたらよいのか—NPO法人家づくりの会では、大学では教えてもらえない知識と能力について、これから住宅設計をやりたいと思っている人、設計事務所や工務店勤務の人、また設計事務所を立ち上げて間もない人たちを対象に、これらを伝えていこうと考えています。

家づくり学校のこのような取り組みは建築界でも注目され、2014年日本建築学会教育賞を受賞しています。本当の意味での良質な住宅が少しでも多く生まれていくことが私たちの目的です。住宅設計に取り組む多くの皆さまのご参加をお待ちしております。(校長|泉幸甫)



●会場:千代田区施設(予定)| 対面を基本としますが、やむを得ない場合はオンライン(ZOOM)とします。  
※COVID-19の状況により、適宜判断していきます。

●授業時間: 13:00~17:00(4時間)

●日程・内容:日曜日(講師、講義内容については都合により変更される場合があります)

第1回 6月26日(日)【住宅設計とは】 講師:田中ナオミ・本間至・荒木毅  
住宅設計の捉え方は設計者によって様々。その様々であることを知ることで、その先に自分はどうするか、それを見出す契機となることを期待します。

第2回 7月24日(日)【断面から考える】 講師:高野保光  
住宅設計は平面からだけではなく、断面でも考える必要があります。日本の古今の住まいの断面計画を学ぶ中で、それを現代にどう生かすかを考えます。

第3回 10月2日(日)【構法から考える】 講師:諸角敬 ゲスト講師:山田憲明(構造設計者)  
木構造にこだわらず、構造一般で意匠設計者が押さえておかなければならないポイントを事例やモデルを参考に、どのように構造設計者と協働していくのが良いかを考えます。

第4回 10月23日(日)【木から考える+防火】 講師:古川泰司 ゲスト講師:加來千紘(桜設計集団)  
木材は持続可能な建築を実現するために大切な素材です。素材の特徴、その生産や加工、そして建設までの知識を得ます。今回は特別ゲストを招き木造防耐火の概要についても学びます。

第5回 11月27日(日)【コストから考える】 講師:杉浦充  
安かろう悪かろうでも、絵に描いた餅でも快適な住まいは実現できません。性能や意匠とは相反するコストのイメージが覆る多くのアイデアを学び、自らの発想のヒントを養います。

第6回 12月25日(日)【環境から考える】 講師:白崎泰弘  
改正省エネ法により住宅の室環境を整えることが必須となってきました。ここでは断熱と湿気に関わる外周部の素材構成や、調和された空気の流れなど、実践で使える手法を学びます。

第7回 1月29日(日)【外構から考える】 講師:泉幸甫  
一般的に言う外構の植栽、門、塀などに限らず、地形や、地域、景観、他の建物の間から生まれる空間まで含めての外部環境、また建物と外部環境との関係を考えます。

第8回 2月26日(日)【生き残るためには】 講師:後藤孝・萱沼宏記・福田隆一・工藤夕佳・太田陽貴  
住宅設計で生き延びることは大変なこと。今、我が道を探しつつある若手建築家の話を聞くことで、これからの自分の道、“自分だけの武器”の発見につながることを皆で考えます。

第9回 3月5日(日)【4年生発表会】 各学年参加による講評会

※講義内容や講師人選は、多様な価値観を学び取れるようバラエティに富んでいます。

申込〆切:6月10日(金)

申込先:NPO法人 家づくりの会

募集サイト:<https://npo-iezukurinokai.jp/gakkou/>

〒102-0075 東京都千代田区三番町20-2 三番町パークライフ104号 TEL:03-6261-2185 MAIL:info@npo-iezukurinokai.jp





## 2年生【見学】年8+1回

これまでの主な講義内容／石(大谷石、鉄平石、稲田石)

木材、左官、瓦、建具、家具、和紙、鍛鉄、鋳鉄、植木

古材・再生素材、メッキ・塗装、板金

教室から飛び出し、素材や技術を実際に見学することで、リアルな建築生産の現場を知ります。ものづくりの現場を知らず、良質かつ本質的な設計はできないもの。職人方々とのネットワークを築く場でもあります。

## 3年生【演習】年8+1回



1・2年コースで得た知見を基に、4人の建築家から住宅に関する個別のテーマについての講義を受けた後、与えられた演習課題を約1ヶ月でとりまとめます。課題提出時には講評会を行い、活発な議論を繰り広げます。

これまでの主な講義内容／住まいの平面計画  
形態、環境、リノベーション、構法、納まり  
屋根、自然、温熱設計、プランニング、茶室



## 4年生【設計】年8回

3～4人の実績ある建築家から一人を選び、そのアトリエで住宅設計を行います。実際の敷地が与えられ、1～3年生で学んだ事を自身の中で統合しながら、一年を通して一軒の住宅設計をまとめます。実際に活躍している建築家のもとでの設計は貴重な体験で、講師との距離が近づく他の教育機関では得られない学習効果があります。最終発表会では、全学年の受講生が集まり自分の作品をプレゼンテーションし、講評会が行われます。

**他**にも ヤマベの木構造でお馴染みの山辺豊彦による特別構造ゼミ(年8回)も開設。昨年度からは自発的な目的意志がある人(卒業生)を対象とした研究生制度も創設。講義後の懇親会、SNSによる意見交換、講師陣の住宅見学会、修学旅行(全学年自由参加)等も行っています。4年制という少しハードルが高く感じる人もいるかもしれませんが、最後まで進級しなくても大丈夫。建築士資格受験、産休・育休等、個人の状況は様々。休学や復学もOKで、目的に応じた学年ごとの修学システムを取っています。



## 学校(を知りたい人のために)展

家づくり学校の魅力を余すところなく伝えるイベントです。会期中の展示の他、スタッフの在廊中は入学相談コーナーも設けます。

●日時(予定):5月1日(日)～5月30日(月)13:00-18:00  
【水曜日は休館】

●スタッフ在廊期間(予定):5月16日(月)～5月30日(月)  
15:00-18:00【水曜日は休館】

●会場:家づくりギャラリー(市ヶ谷)

●内容:卒業作品展示、修学旅行や素材探訪スライドショー、多彩な講師陣紹介など

●申込・詳細 <https://npo-iezukurinokai.jp/gakkou/>